



書道パフォーマンス甲子園の 今後の展望について

令和2年度 総合教育会議資料
令和3年2月1日(月) 13時30分～
庁舎棟5階 大会議室

教育管理部 文化・スポーツ振興課

1. 書道パフォーマンスとは

(1) 書道パフォーマンスとは…

音楽に合わせて、踊りなどの趣向を凝らしたパフォーマンスとともに大きな紙に詩などを揮毫するもの。

(2) 書道パフォーマンス甲子園の始まり

- ・平成13年ごろ、愛媛県立三島高等学校の書道部が音楽に合わせて大きな紙に歌詞を揮毫していた書のデモンストラーションが本大会の始まり。
- ・平成20年7月に、紙まつりイベントの一つとして「第1回書道パフォーマンス甲子園」を開催。



第12回大会優勝
長野県松本蟻ヶ崎高等学校作品

伝える手段は機械だけか/
貴方の心に響くよう/
思い巡らせ紙に綴る/
書志貫徹/
スマホの時代に筆を執れ/
書の継承者は我等なり/

2. 書道パフォーマンス甲子園とは

(1) 書道パフォーマンス甲子園とは

- ・ 全国の高校書道部が書の美、演技の美を競い合う大会
- ・ 平成20年7月から開催、令和3年7月で第14回を迎える
(第13回大会は中止)
- ・ 平成22年、映画「書道ガールズ!!わたしたちの甲子園」が
全国公開



【第12回大会の様子】

3. 書道パフォーマンス甲子園開催の目的

【開催目的】

- (1) 日本一の紙のまち四国中央市のPR
- (2) 新文化の創造発展や書を通じた伝統文化の地域間交流
- (3) 紙産業の振興・地域の活性化
- (4) 全国の書道部に所属する高校生の「意欲向上」
「創造的な人間形成」
- (5) 高校生の高校生による高校生のための大会づくり



【二洲太鼓】



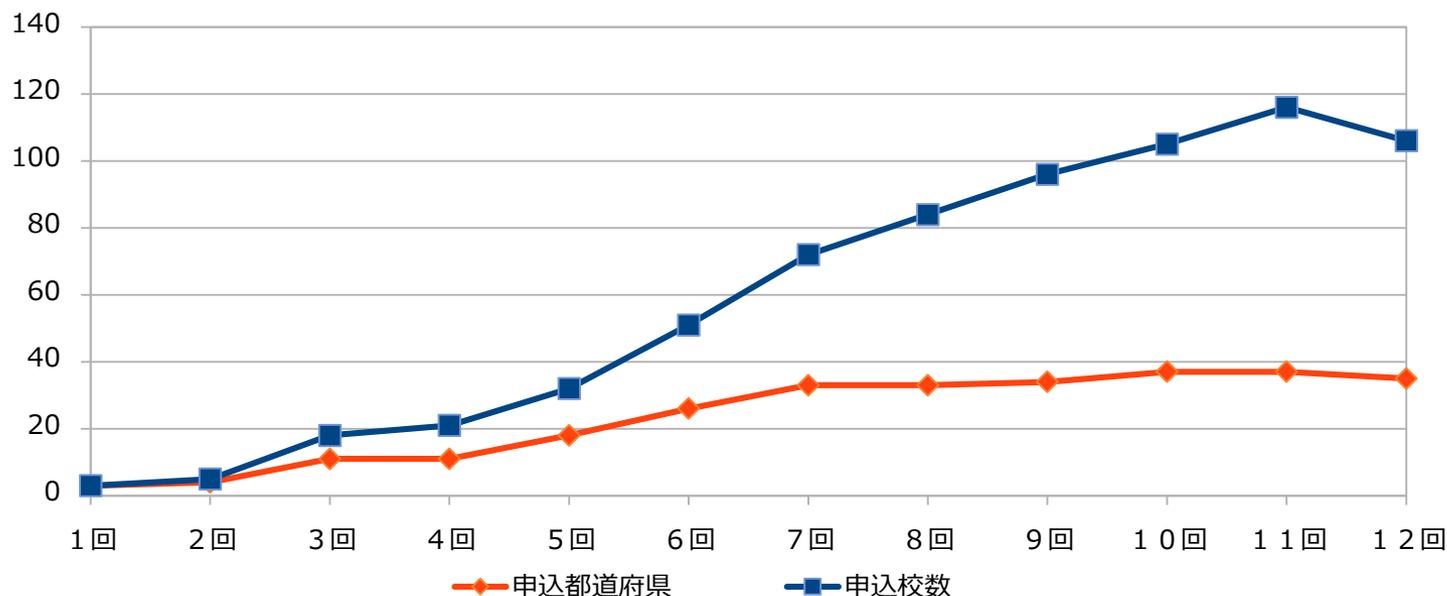
【高校生ボランティア紹介風景】



【交流会風景（大会前日）】

4. 開催の成果

(1) 書道パフォーマンス甲子園の申込校の推移



【申込校数の推移】

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
申込校数	3校	5校	18校	21校	32校	51校	72校	84校	96校	105校	116校	106校
申込都道府県	3県	4県	11府県	11都府県	18都府県	26都道府県	33都道府県	33都道府県	34都道府県	37都道府県	37都道府県	35都道府県

◎ 第1回大会：3県3校 → 第12回大会：35都道府県106校

(2) これまでの書道パフォーマンス甲子園等



【第1回大会：三島高校】

【第1回】

- 平成20年7月、紙まつりのイベントとして川之江商店街で開催
- 参加校：3校
- 観客：延300人

【第2回】

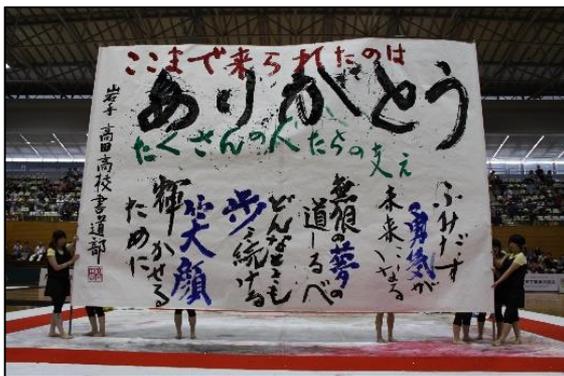
- 参加校：5県5校
- 大会後、映画「書道ガールズ」公開



【映画「書道ガールズ」(2010年5月公開)】

【第5回】

- 参加校：18都府県32校
(本戦出場19校)
- 震災特別枠を設定し、東北の3校を本戦へ特別招待(高田高校、宮城第一高校、巨理高校)



【第5回大会震災特別枠：高田高校】



【「戦後愛媛のイノベーション30選」】
愛媛県発明協会が、愛媛県で成長し愛媛県の経済発展に大きく寄与した30のイノベーションブランドを選定

【第11回】

- ・ 参加校：37都道府県116校
(本戦出場20校)
- ・ 「戦後愛媛のイノベーション30選」
に選定

【第12回】

- ・ 参加校：35都道府県106校
(本戦出場20校)
- ・ 観客：延6,500人

【ジャカルタ日本祭り（インドネシア）】

- ・ 在インドネシア日本大使館から川之江・三島高校がジャカルタ日本祭りに招待される
- ・ 日程：令和元年9月6日～9月9日
- ・ 2日間で4回公演
- ・ 書道のワークショップを実施



【第12回大会：松本蟻ヶ崎高校】



【ジャカルタ日本祭りの様子】



5-1. 第13回書道パフォーマンス甲子園について

(1) 大会の中止

第13回大会は令和2年7月26日（日）の開催を予定
⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止

(2) 代替事業の実施

- ①冊子の作成
- ②演技動画等の配信
- ③書道パフォーマンス作品の展示
- ④参加記念品の作成

(3) 第13回代替事業の概要

参加校数：87校（全国33都道府県）

※新規参加校 20校

参加者数：1,654名



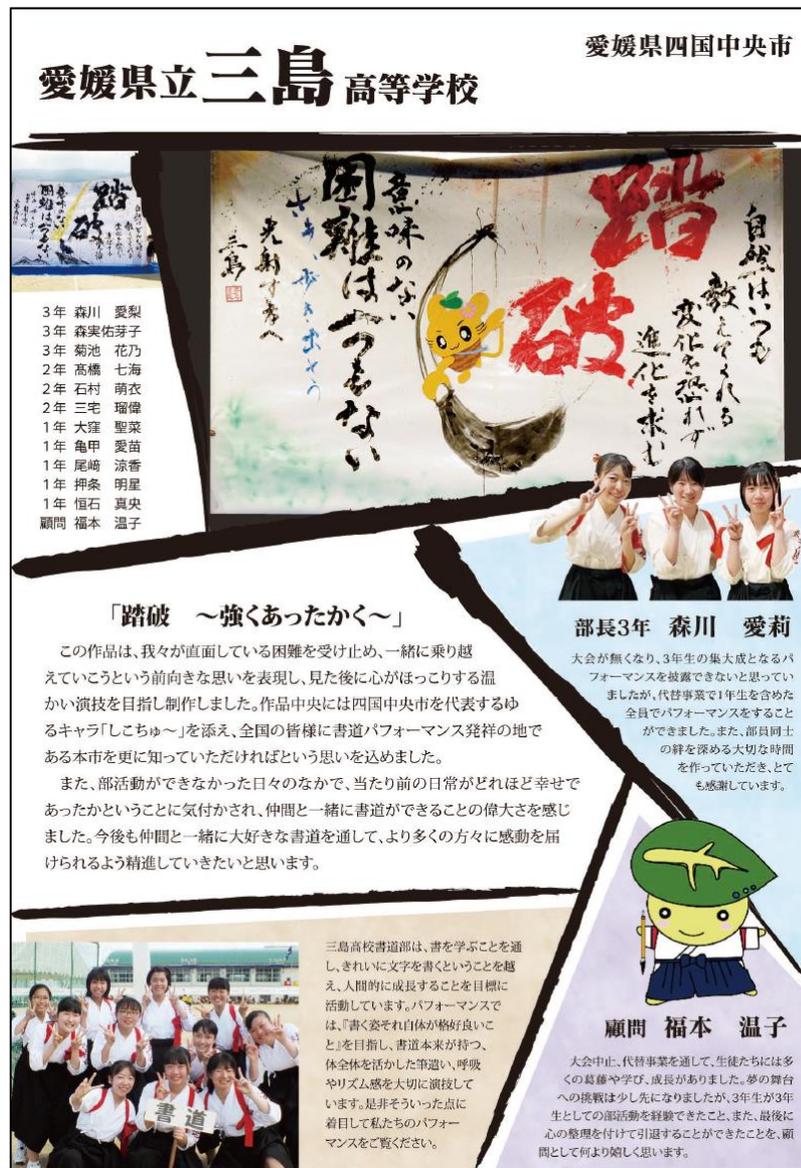
5-2. 第13大会代替事業について

(1) 冊子の作成

- ・参加校：83校
- ・フルカラー、158ページ
- ・発行部数：2,300部



【代替事業冊子（表紙）】



【三島高校のページ】

(2) 演技動画等の配信

四国中央テレビ内に特設サイトを開設し、演技動画およびメッセージ動画を配信した。

①書道パフォーマンス演技動画

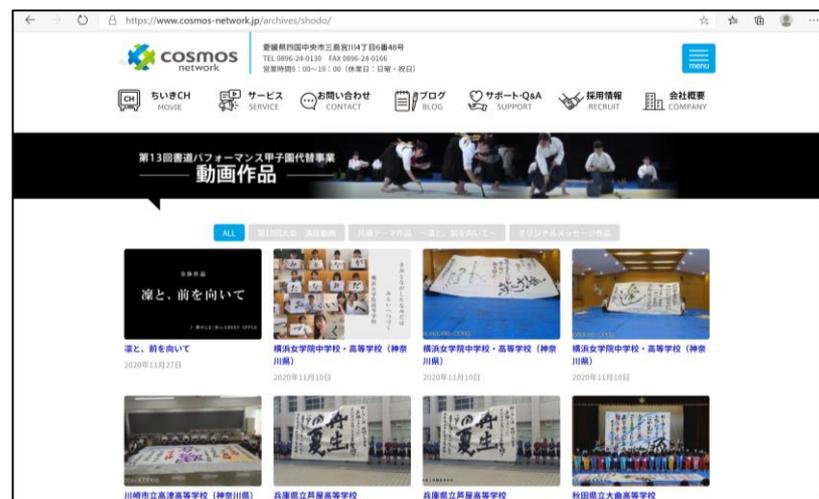
- ・参加校：63校
- ・第13回大会で予定していた演技もしくはこれまでに撮影した演技

②メッセージ動画全体作品

- ・参加校：40校
- ・事務局が設定したテーマと課題曲に沿って行った演技を1つの作品に編集して公開

③メッセージ動画オリジナル作品

- ・参加校：28校
- ・各学校において自由に作成したメッセージ動画



四国中央テレビHP内特設サイト
<https://www.cosmos-network.jp/archives/shodo/>

(3) 書道パフォーマンス作品の展示

- ・参加校：33校
- ・展示期間：8月下旬～9月中旬
- ・展示施設数：19か所（※現在も一部施設で展示中）



川之江高校作品「もう一度輝く」
展示場所：川之江図書館



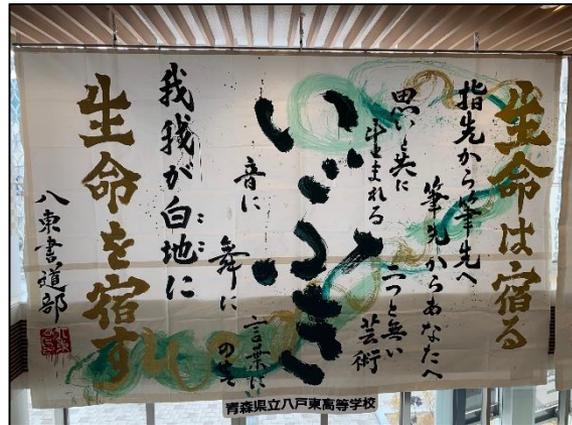
三島高校作品「踏破～強くあったかく～」
展示場所：HITO病院



松本蟻ヶ崎高校作品「僕たちの青春」
展示場所：四国中央市役所



高松西高校作品「愚公山を移す」
展示場所：ユーホール



八戸東高校作品「いぶき」
展示場所：市民交流棟



山口高校作品「繁承～令和維新～」
展示場所：歴史考古博物館

(4) 参加記念品の作成

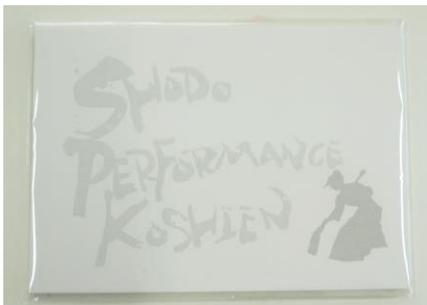
- ① マフラータオル ② エコバッグ
- ③ クリアファイル ④ 一筆箋
- ⑤ メッセージカード ⑥ 書道パフォーマンス用紙 (演技動画応募校のみ)



マフラータオル



エコバッグ



メッセージカード



一筆箋



クリアファイル (6種類)

6-1. 第14回書道パフォーマンス甲子園について

(1) 大会概要

日時：令和3年7月25日（日） 9：30～17：30

場所：伊予三島運動公園体育館

(2) 大会運営組織等

主催：書道パフォーマンス甲子園実行委員会

共催：四国中央市、四国中央市教育委員会、紙まつり実行委員会

(3) 第14回大会の特徴

「19歳の部」の創設

- ・第13回大会に参加が叶わなかった高校3年生の出場を認める
- ・募集校数：4チーム程度

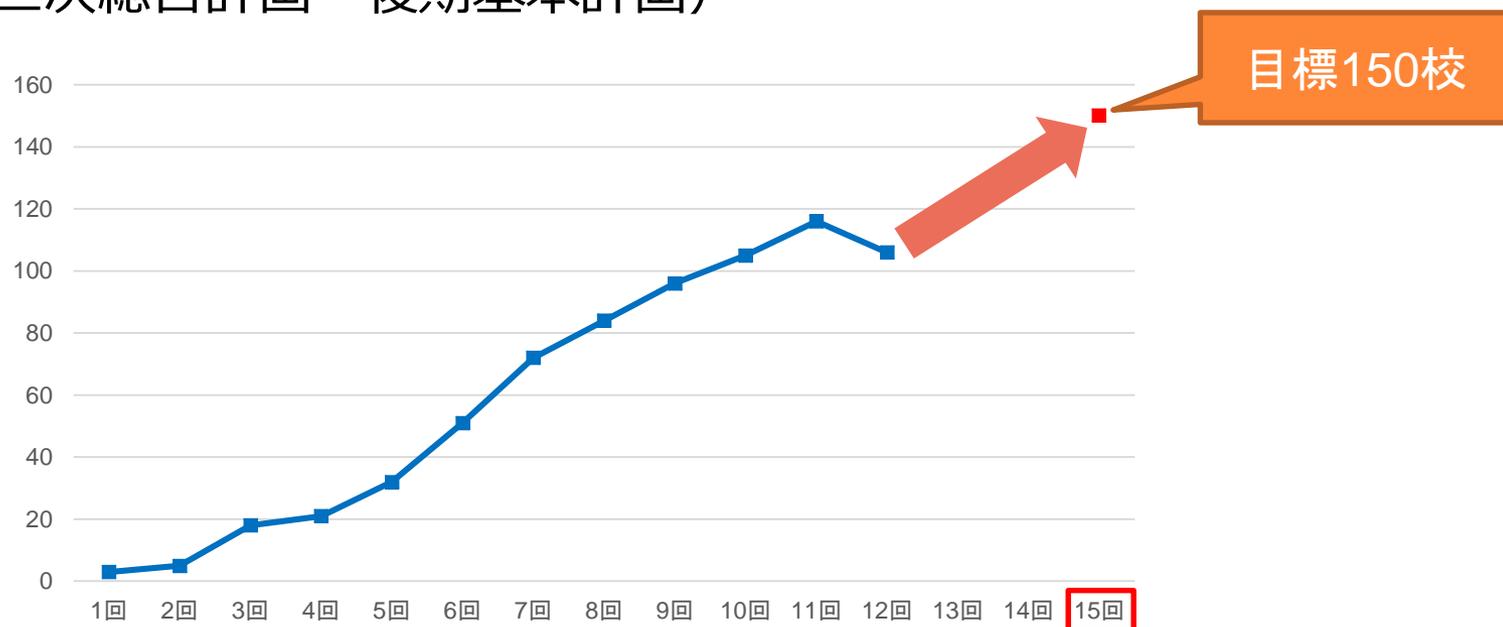
7. 今後の目標と課題

(1) コロナ禍における大会開催手法

(2) 申し込み校数の増加

第15回大会における申し込み校数**150校**を目指す。

(第二次総合計画 後期基本計画)



(3) 第20回大会に向けての発展

節目となる第20回大会に向けて、書道パフォーマンス甲子園を更に盛り上げ、発展させる。